★グランドルールの設定★

 実施に際しては、＜心理的安全の確保された場＞を作る為、以下のグランドルールがあります。

・攻撃的な言葉遣いをしない。見下したり、馬鹿にした発言をしない。

・ベテランは「経験者である」というだけで威圧感があることを意識して発言をやわらげる。

・質問セッションでは質問、アイデアセッションではアイデアをだす。

・積極的に参加し、たくさん発言し、笑いましょう。

・他者の意見を否定はしないで、自分の意見をのべましょう。

・多様な意見が場に出るように、同じ人ばかりが発言しないようにしましょう

＜流れ＞

［ステップ１］準備（5分）

1グループ10人程度。

提出資料

①サービス計画・モニタリング報告書

②自己チェックリスト（チェック済）

③アセスメントシート（自事業所で使っているものでOK）

事例の配布、役割分担の確認等を予め行う。利用者の名前は消す。

役割（機能強化担当）：ファシリテーター1人、ホワイトボードに書記2人

［ステップ２］報告セッション（10 分）：内訳：報告 7 分、読み込み 3 分

事例の要点や解釈（見立て）判断の理由を端的に説明する。

自己チェックリストに基づき、自分が「これでいいのかな」と感じる点を報告。

［ステップ３］質問セッション（20 分）

グループメンバーからの質問を受ける。 （１周目事例について、２周目書式など）

［ステップ４］アイデアセッション（15分）

3人程度の小グループで、意見交換→発表

意見は「次回のモニタリングでどんなところを見て来るか」について考える。

事例の解決策を出すわけではない。

水平の立場で発言する。

［ステップ５］応答セッション（5分）

事例提出者が参加者の意見を聞いて感じたことを報告して終わり